

2023年4月25日

沖縄県

宮古島市

下地島エアポートマネジメント株式会社

スカイマーク株式会社

羽田空港発着枠政策コンテスト

スカイマーク 羽田＝宮古(下地島)線に発着枠の配分が決定

沖縄県、宮古島市、下地島エアポートマネジメント株式会社とスカイマーク株式会社の4者は、羽田空港発着枠政策コンテスト(以下、コンテスト)において、羽田＝宮古(下地島)線を共同提案しておりましたが、この度、国土交通省より発着枠を配分されることが正式に決定しました。

4者は、2020年2月に「既存の施設や資産を活かした観光立国と地方創生の実現」「低廉な航空運賃による潜在需要の掘起こしと新規路線就航による座席供給量の拡大」「年間を通じた観光需要の標準化の実現」などを目的にコンテストに応募。その後、2022年夏ダイヤと2022年冬ダイヤまでの1年間をトライアル運航期間(評価対象期間)として運航してまいりました。

※ 2020年冬ダイヤは準備等のために暫定運航。当初は2021年夏ダイヤと2021年冬ダイヤまでが評価対象期間とされていましたが、新型コロナウイルス感染拡大により2022年夏ダイヤから冬ダイヤまでが評価対象期間となりました。

2023年3月に開催された「羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会」で評価対象期間の取り組みに一定の効果があつたと認められたことから、国土交通省から当該路線に対し、2025年3月29日まで発着枠が配分されることになりました。この貴重な羽田空港国内線発着枠を有効活用し、羽田＝宮古(下地島)線を毎日1往復、運航してまいります。

4者は今後も連携を強化し、羽田線と神戸、那覇の既存路線に加え新たにこの夏に就航する福岡＝宮古(下地島)線の利用促進を図り、沖縄県、宮古島市における地域経済の発展と地域活性化に貢献してまいります。



みやこ下地島空港ターミナル 鳥瞰写真



スカイマーク ボーイング 737-800

以上